

## 平成30年度 神戸大学技術職員研修(集合研修)日程表(案)

期間:平成30年9月～平成31年3月

対象技術職員:68名

総合テーマ:「水」

2018.09.12

◆全体研修	9:00～ 9:20	9:20～ 9:30	9:30～ 9:50		10:00～ 11:00		11:10～ 12:10		13:10～ 14:10		14:20～ 16:25		16:35～ 17:10		17:30～ 19:30
9月14日(金) 瀧川記念学術交流 会館・大会議室(2F)	受付	開講式 事務連絡	「講話」 学長	会場 準備	「講義1」□ 『水、かたちと色』 内海地域環境教育研究センター 准教授 村上明男	会場 準備	「講義2」 『貴方は碧いリゾートの海 を選びますか？恵み豊か な海を選びますか？』 内海地域環境教育研究センター 助教 浅岡 聡	休憩	「講義3」 『情報技術と エンタテインメント』 工学研究科 教授 寺田 努	会場 準備	「業務・技術報告」 工:2件、医、 海、理、農:各1件 (15分+5分)X6件 (※)	会場 準備	「個別研修の流れ」 全体会議	事務 連絡	懇親会 瀧川記 念学術 交流会 館(1F)

(※) 工学系:中辻竜也「技術研究計画(個人研究)として取り組んでいる材料観察器具の試作について(仮)」、木村由斉「真空技術」、

医学系:薛 富義「神経回路標識法実習の紹介」、海事系:松原佳之「業務内容紹介(エネルギー流体科学研究室)」、

理学系:牛原康博「業務内容紹介(内海地域環境教育研究センター)」、農学系:野村直希「畜産系での4年間の取り組み」

◆分野別研修	コース番号	分野 テーマ 場所 講師/担当 等
9月4日(火)	①	工学分野【施設等見学】『巨大建造物の補修の現場を知る』『舞子高架橋、明石海峡大橋、橋の科学館』(担当:中西智美・高麗憲志) (工学研究科)
9月21日(金)	②	工学分野【実習】『FMラジオ受信機で体験するARMマイコンとC言語プログラミング』『工.技術室運用室』(講師:分子科学研究所 技術課 豊田朋範) (担当:松本香) (工学研究科)
9月18日(火)	③	(半日コース) 工学分野【講義】『ストレスマネジメント』『工学研究科』(講師:池田秀幸 日本精神科看護協会) (担当:大和勇一、吉田秀樹) (工学研究科)
11月6日(火)	④	工学分野【講義等】『工学分野講義・技術発表等(第149回技術研究会)』『工学研究科』(担当:工学研究科技術室 研修委員会) (工学研究科)
9月21日(金)	⑤	医学分野【実習】『DNAシーケンサーを用いた遺伝子配列解析』(仮)「医学研究科」(講師:早坂直美) (医学研究科)
9月5日(水)	⑥	医学分野【施設見学】『医療技術に貢献するものづくりを学ぶ』『オムロンコミュニケーションプラザ・(株)京都科学』(担当:薛 富義) (医学研究科)
9月20日(木)	⑦	理学分野【講義等】『特許について考えよう』『環境保全推進センター』(講師:西川大介、末次憲一郎、開本亮) (理学研究科)
9月19日(水)	⑧	(半日コース) 海事分野【講義】『サイバーセキュリティ講習』『深江キャンパス 梅木Nホール(予定)』(講師:兵庫県警察本部サイバー犯罪対策課) (担当:松原佳之、黒木克典) (海事科学研究科)
9月27日(木)	⑨	海事分野【実習】『パソコンを組み立てる』『深江キャンパス 梅木Nホール(予定)』(講師:黒木克典、松原佳之) (海事科学研究科)
11月中下旬	⑩	農学分野【施設見学】『大阪府立大学研究推進機構植物工場研究センターおよび大阪府立環境農林水産総合研究所』(担当:谷田真也・谷川隆) (農学研究科)
未定(2月予定)	⑪	農学分野【農学系集合研修】『○○○○○○』『○○○○』(担当:富士松雅樹) (農学研究科)

(注) 1)全体研修の受講は必修とします。 2)技術職員(\*)は分野別研修を各コースから2日分選択とします。 3)基本的に分野別研修は全学技術職員(\*)オープン化とします。 4)閉講式は行いません。

(\*) 技術職員:教室系技術職員(再雇用技術職員含む)

平成30年度 神戸大学技術職員研修 集合研修・分野別研修コース概要一覧

2018.09.12

コース番号 日程	(分野)『テーマ』 集合場所／実施場所 (受講者定員)	内容概要【担当講師】
① 9/4日(火)	(工)『巨大建造物の補修の現場を知る』 JR舞子駅／舞子高架橋、明石海峡大橋、橋の科学館 (15名 担当含む)	《施設及び現場見学》 神戸鳴門淡路自動車道は非常に周辺環境が厳しい自動車道である。舞子高架橋補修工事現場および明石海峡大橋において、一般的には知られていないコンクリート橋の補修現場、および鋼橋のメンテナンス状況を見学し、巨大インフラの維持管理の現状を知る。  午前: 舞子高架橋と橋の科学館 午後: 明石海峡大橋 【担当: 中西智美 技術専門職員、高麗憲志 技術専門職員】
② 9/21(金)	(工)『FMラジオ受信機で体験するARMマイコンとC言語プログラミング』 先端膜工学研究拠点 207室 技術室運用室／同左 (10名 担当含む)	《実習》 近年、マイコン開発においては様々な評価ボードや開発ツールが登場しているが、何から手を着けて良いのか不明瞭であったり、マイコンをブラックボックスとしていたりするため、本来の性能を十分引き出せる状況とは言えない。本演習では、FMラジオ受信機という明確な最終目標を持つ教材を使用し、ARMマイコンの開発環境の使い方からフレームワークを利用して、マイコンというハードウェアに即したプログラミングを体験する。 【講師: 豊田朋範 分子科学研究所 技術職員】【担当: 松本香 技術職員】
③ 9/18(火) (半日コース)	(工)『ストレスマネジメント』 工学研究科本館内教室(未定)／同左 (25名 担当含まず)	《講義等》 我々技術職員は、教員・学生・事務職員と様々な人々と接し業務を遂行している。ストレス社会と言われる現代、こころの病にかかる人が増えている。こころの健康バランスを崩すきっかけは、生活の中のどこにもある。技術職員として日々の業務を円滑に行うためには、こころの健康は大変重要である。今回、精神科領域で働く看護師の方を招き、職場のメンタルヘルス、ストレスと上手につきあう方法に関する講義を受け、各位の日々のこころの健康の向上を目指す技術を習得することを目的とする。 【講師: 池田秀幸 日本精神科看護協会】【担当: 大和勇一 技術専門職員、吉田秀樹 技術専門職員】
④ 11/6(火)	(工)『工学分野講義・技術発表等(第149回技術研究会)』 自然科学総合研究棟3号館 125演習室／同左 (50名 担当含む)	《講義》『新規光イメージングシステム開発と実験システム試作について』(仮) 講師: 仁田功一 准教授 《技術職員による発表》 発表者: 熊谷宜久 技術専門職員、中西智美 技術専門職員、大和勇一 技術専門職員、義澤康男 技術専門職員(以上予定) 《見学》 工作技術センター(希望者のみ) 【担当: 工学研究科技術室 研修委員会】
⑤ 9/21(金)	(医)『DNAシーケンサーを用いた遺伝子配列解析』 医学研究科研究棟C 3階研究室／同左 (8名 担当除く)	《実習》 腔粘膜より抽出したDNAを用いてβ2-AR遺伝子およびβ3-AR遺伝子を増幅し遺伝子配列を調べ、DNAシーケンサーの目的および使用方法を理解する。 【講師: 早坂直美 技術専門職員】

<p>⑥ 9/5(水)</p>	<p>(医)『医療技術に貢献するものづくりを学ぶ』 午前:オムロンコミュニケーションプラザ(京都市) 午後:株式会社京都科学(京都市) (15名 担当者含む)</p>	<p>《施設見学》 国内の健康医療機器メーカーとして著名な企業を8年ぶりに訪れ、最近リニューアルされたという技術展示室をあらためて見学し、前回よりさらに進歩した生体情報センシング技術など最新の技術に触れる。また、午後からは国内における医学教育用標本製作分野におけるトップランナーとして走り続ける京都科学の工場およびショールームを見学し、医療スキルに貢献できる教育用シミュレーターや解剖模型標本等を製作する「ものづくり」の技術について触れる機会を得る【担当:薛 富義 技術専門員】</p>
<p>⑦ 9/20(木)</p>	<p>(理)『特許について考えよう』 午前:環境保全推進センター1F ライブラリー室/同左 午後:工学部本館2F D2-203 情報知能演習室/同左 (10名程度 講師除く)</p>	<p>《講義等》 特許は大学および個人の成果となるが、学ぶ機会が少ない。 今回、日頃の研究や技術について特許になるか、またその申請方法について学ぶ。 受講者の技術についても専門家にてもらい、特許申請につなげられる知識をつける。 【講師:西川大介 技術専門職員、末次憲一郎 環境企画コーディネーター、開本亮 教授】</p>
<p>⑧ 9/19(水) (前半日コース)</p>	<p>(海)『サイバーセキュリティ講習』 深江キャンパス 梅木Nホール(予定)/同左 (20名 担当除く)</p>	<p>《講義》 サイバー犯罪から身を守る対処能力を兵庫県警察本部サイバー犯罪対策課の職員の方から学ぶ。 【講師:兵庫県警察本部サイバー犯罪対策課】【担当:松原佳之 技術員(主)、黒木克典 技術専門員(副)】</p>
<p>⑨ 9/27(木)</p>	<p>(海)『パソコンを組み立てる』 深江キャンパス 梅木Nホール(予定)/同左 (10名 担当除く)</p>	<p>《実習》 部品単位(マザーボード、CPU、電源等)で用意したPCを組み立てる事でPC内部の構造や部品の役割を理解する。組み立て後、OS(Windows)をインストールした後、OS標準のバックアップ機能について学ぶ。 【講師:黒木克典 技術専門員(主)、松原佳之 技術員(副)】</p>
<p>⑩ 11月中下旬</p>	<p>(農) 大阪府立大学研究推進機構植物工場研究センター、大阪府立環境農林水産総合研究所/同左 (20名 内13名農学系参加予定 担当含む)</p>	<p>《施設見学》 大阪府立大学研究推進機構植物工場研究センターおよび大阪府立環境農林水産総合研究所を見学する。 【担当:谷田真也 技術専門職員、谷川隆大 技術専門職員】</p>
<p>⑪ 2月</p>	<p>(農)『未定』 食資源教育研究センター(予定)/同左 (20名 内13名農学系参加予定 担当含む)</p>	<p>《農学系集合研修》 内容未定 【担当:富士松雅樹 技術専門職員】</p>

※(分野)工:工学分野、農:農学分野、医:医学分野、海:海事分野、理:理学分野 ※担当/講師の下線は、複数の担当/講師がいるコースでの担当代表者を示す。